

(単元)

『竹取物語』「かぐや姫のおひたち」

(本時のねらい)

第2段落から第3段落前半の現代語訳を読み, 登場人物の様子や行動, 心情などを理解させる。

(ICT活用方法)

生徒の理解を深めるために, 電子黒板を活用して教科書やプリントを映し, 電子ペンで重要な箇所を示す。言葉だけで説明するのではなく, 生徒が持つ資料と同じものを投影することで, 内容理解や活動をしやすくする。また, 生徒の興味関心を高めるために, 電子黒板で当時の衣服等の視覚的資料を提示する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法	備考
導入 5分	・前時の復習をし, 本時の目標を確認する。	・目標を理解させる。	・電子黒板で教科書を映す。	
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">1 本文の読みを確認する。</div> ・範読を聞く。 ・ペアで歴史的仮名遣いの箇所とその読み方を確認し, 発表する。 ・本文を音読する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">2 現代語訳の空欄部分にあてはまる語句を調べる。</div> ・教科書の脚注や資料を用いて, プリントの現代語訳の空欄にあてはまる語句をペアで調べる。	・歴史的仮名遣いの部分に注意して聞くように促す。  ・適切にアドバイスをして, あてはまる語句を考えさせる。	・電子黒板でプリントを映し, 歴史的仮名遣いの箇所を電子ペンでチェックさせる。	

	<p>3 現代語訳全体を確認し，内容を読み解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空欄にあてはまる語句を発表する。</li> <li>・完成した現代語訳を踏まえながら，本文の内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な箇所を押さえながら，詳しく解説する。</li> <li>・登場人物の様子や行動，心情等を的確に理解させる。</li> <li>・当時の衣服等を確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板でプリントを映し，電子ペンで生徒の発表内容を書く。</li> <li>・電子ペンで重要古語に線を引いたり，図を書いたりする。</li> <li>・電子黒板で当時の衣服等を映す。</li> </ul>	
まとめ 5分	・本時の学習内容を確認する。	・学習内容を確認させる。		

(授業の様子)



全体の様子



歴史的仮名遣いの箇所を  
チェックする



当時の衣服の紹介

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

電子黒板を活用して，教科書やプリントをそのまま映し出したり，電子ペンで色分けしながら重要な箇所を示したりすることは，生徒の理解を促し，板書時間の短縮にもつながった。また，当時の衣服の写真を映して生徒の興味関心を引き出すこともできた。今後は，生徒が書き込んだプリントをタブレットで撮影して電子黒板に映すことで，生徒一人一人の考えを全体で共有する等，学びを深める工夫をしていきたい。